

のめいわ議会だより



特集

予算特別委員会

目次

- 特集 予算特別委員会 P2～3
- 第1回定例議会 P4～5
- 委員会ダイジェスト P6
- 一般質問 P7～11
- 傍聴に来ませんか！ P12
- その後、どうなった？ P13
- 次号「表紙写真」を募集します P14

NO. **168**
3月議会号

発行／編集 明和町議会



平成30年度 予算を 可決

のまちづくり



予算特別委員会

3月定例会において町長、副町長から提案理由の説明があり、予算審査のため特別委員会を設置しました。3月12日から14日の3日間にわたる審査の結果、3月23日の最終日に、住宅新築資金等貸付事業特別会計は多数賛成、その他の議案は全員賛成で可決しました。

委員会の主な質疑

一般会計

総務費

Q 広島平和記念式典派遣事業は、昨年3名派遣されているが今年は何名か。またその選定方法は。

A 中学校の生徒6名と引率の先生1名、町職員2名の計9名を予定。選考については、中学校で行っており、例年生徒会の役員が代表して派遣されている。

Q 来年度の町政60周年記念式典事業はどのような催しを予定しているのか。

A ①7月20日「明和町ふるさと帰イベント」
：首都圏の町出身者や企業、関係者などが集まり明和町のPRと参加者の交流をはかる。
②9月2日「記念式典及び雅楽コンサート」
：功労者表彰及び雅楽師の東儀秀樹氏と皇学館大学雅楽部によるコンサートを予定。

③10月21日「60周年記念共同イベント」：物産展、産業展、音楽イベントやヘルスツーリズム健康ウォークなどのイベントを予定。
④3月9日「公開放送収録」：NHKラジオ「民謡をたずねて」の公開収録を予定。他多数イベントを予定。

Q J-INTER受信機器の耐用年数は。

A 平成21年に導入し8年が経過、耐用年数は5年程度。ソフトウェアサポートも平成33年に切れる為更新したい。

どう使われる みんなのお金



明和中学校建て替えを含む **総 額**

178億4,541万5,000円

Q 青年就農給付金は何人にどのような支援をするのか。また、いつまで補助が出るのか。

**農林水産業費・商工費
土木費・消防費**

A 自殺の予防対策として、国の自殺総合対策大綱が出され、市町において来年度に地域自殺対策計画を立てることが義務づけられた。プロポーザルを実施し、委託先を決めていく。

Q 地域自殺対策計画策定業務の内容及び委託先は。

民生費・衛生費

Q ヘルスツーリズム事業の来年度の事業計画は。

A 健康プログラム・ヘルシーメニューの開発、町内外へ発信していくためのパンフレット作成、セラピーガイド人材育成研修、ヘルスツーリズムを推進していくための土台となる組織づくり等を行い、国のヘルスツーリズム認証制度を受けていく。

当初予算額一覧表

明 和 町

(単位：千円)

会 計 名		平成30年度 当 初		平成29年度 当 初		伸率%
1	一 般	10,180,000		8,246,000		23.5
2	斎 宮 跡	536,200		458,200		17.0
3	住 宅 新 築 資 金	15,215		11,800		28.9
普通会計合計		10,731,415		8,716,000		23.1
4	国 保 健 康 保 険	2,701,000		3,100,000		△ 12.9
5	農 業 集 落 排 水	215,900		200,700		7.6
6	公 共 下 水	667,000		691,700		△ 3.6
7	介 護 保 険	2,337,000		2,299,700		1.6
8	後 期 高 齢	500,500		442,600		13.1
特別会計合計		6,421,400		6,734,700		△ 4.7
9	水 道 事 業	収益的	434,200	収益的	428,800	1.3
		資本的	258,400	資本的	290,300	△ 11.0
		合計	692,600	合計	719,100	△ 3.7
総 合 計		17,845,415		16,169,800		10.4

教 育 費

Q 中学校の給食用食器は、中学校建て替えまでに新しく替えることは可能か。

A 今まで食器を陶器に替えたことがある。現場の声を参考に考える。

斎宮跡保存事業

Q ラッピングバスの効果は。

A 現在ラッピングバスは伊勢の外宮・内宮線を中心に走っており、沢山の観光客に見てもらえる効果がある。

特別会計

Q 中学校建設事業の工事委託の今後の予定は。

A 5月を目途に設計を完了し、6～7月に業者選定の入札を予定している。

農業集落排水事業

Q 農業集落排水（上御糸・下御糸地区）の接続率は平成29年末では何%か。また平成30年度の目標値は。

A 平成29年度末で約75%、平成30年度末は約80%を目標としている。

国民健康保険

Q 出産育児一時金の窓口支払いの必要は。

A 42万円まで補助があり、窓口支払いの必要はないが、その額を超えたら自己負担。

第1回 定例議会〈3月5日～23日〉

こどもたちの笑顔あふれるまちに



第14回いつきのみや梅まつり「バルーンアートって楽しいな！」

3月定例会に提案された議案などは、**全て原案のとおり可決しました。**

こんなことが
行われました

(5日)

- ◆ 諸般の報告・行政報告がありました。
- ◆ 2人の人権擁護委員候補者の推薦を答申しました。
- ◆ 2件の条例制定を可決しました。
- 明和町指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準条例
- 明和町空家等の適正管理に関する条例
- ◆ 15件の条例改正を可決しました。
- 明和町課設置条例の一部を改正する条例
- 明和町総合建設計画審議会条例等の一部を改正する条例
- 明和町個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 明和町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町認定こども園設置条例の一部を改正する条例
- 明和町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 明和町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 明和町介護保険法に基づく指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準に係る条例の一部を改正する条例
- 明和町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

- 明和町介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町都市公園条例の一部を改正する条例
- 明和町津波避難タワーの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- ◆1件の条例廃止を可決しました。
- 中部圏開発整備に伴う固定資産税の特例に関する条例を廃止する条例
- ◆道路線の認定について可決しました。
- ◆平成29年度管工・5宮川流域関連公共下水道事業管路施設工事16工区請負契約の変更を可決しました。
- ◆平成29年度補正予算の説明、質疑、採決がありました。
- ◆3件の条例改正の説明がありました。
- 町長、副町長及び教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 明和町介護保険条例の一部を改正する条例
- ◆平成29年度防・7津波対策緊急整備事業大堀川新田津波避難タワー新築工事請負契約の変更を可決しました。
- ◆平成30年度予算の説明があり、詳細に審査するため予算特別委員会を設置しました。
- ◆5人の議員が一般質問をしました。
- (詳細はP7～11)
- (12・13・14日)
- ◆予算特別委員会を開き説明、質疑、採決を行いました。
- (詳細はP2～3)
- (23日)
- ◆予算特別委員長の報告を受け、平成30年度予算を可決しました。
- ◆6日に説明のあった条例改正を可決しました。
- ◆平成29年度一般会計補正予算(第9号)の説明、質疑、採決がありました。

人事

○人権擁護委員
間宮 高史氏(佐田)
浅尾 健氏(斎宮)

意見書

可決された意見書
○バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書
○所有者不明の土地利用を求める意見書

○土地改良法を改正し、必要な施策の推進を求める意見書
○新たな森林管理システムの早期実施を求める意見書
○洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書



紀宝町タイムライン(事前防災行動計画)視察

各議員の賛否

平成30年3月定例会

賛否の分かれた議案のみの表示です。
ほかの議案は全会一致で賛成しました。

審議結果	議員名	伊豆千夜子	中井啓悟	江京子	樋口文隆	奥山幸洋	乾健郎	阪井勇男	山内理	北岡泰	松本忍	綿民和子	上田清	辻井成人
可	平成30年度明和町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	△

「可」は可決、「否」は否決。議長は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長採決。 ○は賛成、×は反対、△は欠席。



議会人権研修の様子

委員会 ダイジェスト

委員会の主な内容です

**福祉窓口業務の見直し！
「健康あゆみ課」と
「福祉ほけん課」の設置**

2/19

総務産業常任委員会

○4月から「福祉保健課」・「長寿健康課」を、保健師・社会福祉士の相談支援業務を主とした「健康あゆみ課」と窓口事務業務を主とした「福祉ほけん課」とに再編することの協議が行われました。

○消防団員の費用弁償を2千円から2千500円に引き上げます。それでも他の市町より低いので、今後も引き上げを検討していくよう要望しました。

○災害復旧事業・社会資本整備総合交付金事業（歩道設置や舗装補修等の工事）の進捗状況等の報告を受けました。

○宮川流域関連公共下水道の進捗状況・事業全体計画の変更と次期事業計画区域の設定について説明を受けました。伊勢市と協議し大淀地区の方向性を早期に決めるよう要望しました。

人権擁護委員候補者の推薦

2/22

教育厚生常任委員会

○人権擁護委員候補者を2名推薦する報告を受けました。

○伊勢広域環境組合の施設整備基本構想について、整備方針の考え方を質疑しました。

○空き家等の適正管理に関する条例・明和町空き家バンク制度・包括連携協定について、制度の活用や広報等を質疑しました。

○町民バスの運行計画見直しについて、ルートや運行時間等を質疑しました。

○男女共同参画基本計画において、役場職員の意識改革を求めました。

○障がい者計画他2計画・歯科保健基本計画・福祉分野の組織変更について、住民福祉の向上に対応して貰うよう要望しました。

○国民健康保険条例一部改正において、医療費削減の取り組みを確認しました。

○高齢者福祉・介護保険事業計画において、要支援者避難対策の推進を要望しました。

中学校建替工事について

3/1

公共施設等建設特別委員会

3月1日の委員会において、中学校建替工事資料に基づき、教育委員会から説明がありました。

委員からは、

「限られた予算ではあるが、子どもたちのために、教室へのエアコン設置に向けてよく精査していただきたい。」

「設計・施工について業者と情報共有し、ドローン等活用して全体を二次元的に把握し取り組んでいただきたい。」などの意見がありました。

これに対して執行部からは、「空調が後ほど設置できるよう配管する。予算は、平成30年度の途中まではある程度固まった数字だが、それ以降については設計で変わってくる可能性がある。」

「教育委員会の担当者も勉強し、設計・施工に反映していく。」との答えでした。その他、グラウンド整備費の削減のために整備手法を検討するよう要望しました。

5人の議員が 町政を問う Q&A 一般質問

○一般質問は、議員が町政全般について町長・教育長に報告や説明を求めるものです。

福祉施策の現状と課題は

綿民 和子議員

答 子どもの虫歯予防と障がい者の住まいの確保の推進



問 町では、平成26年4月に「明和町歯と口腔の健康づくり」条例を定め、それがその後の取り組みは

町長 歯と口腔の健康づくり推進協議会を設置。歯と口腔の健康づくり普及月間である11月に「歯とお口の健康まつり」を開催し、歯と口腔の健康づくりの重要性について普及啓発を行っている。



問 子どもたちへの口腔機能を向上推進する手法としてのフッ化物洗口は、既に町内の全幼稚園・保育所で実施整備されているが、小学校でのフッ化物洗口の導入になぜそれほど時間がかかるのか。その要因はどこにあるのか。これからの計画は。

教育長 小学校の現場では、集団でのフッ化物洗口についてフッ化物洗口の薬剤が水で希薄する前は、劇薬であることや薬剤に頼ることの是非、そして、運営や管理面で不安がある。フッ化物洗口については、小学校だけではなく、家庭でも担っていくことも考えていく必要がある。今後、歯磨きの指導の充実とフッ化物応用の重要性について保護者等へも学校だより等を通して啓発していきたい。

問 松阪市の小学校では今年11月から、モデル校としてフッ化物洗口を実施すると聞く。このことを受けて町の考えは。

教育長 松阪市での情報を収集し、状況を確認した中で、明和町でも実施できるのか今後検討する機会があると考えている。

問 町のグループホームの現状は。また、入所希望者の状況は。

町長 明和町には、2か所の障がい者グループホームが運営されている。どちらも定員が7名で、14名の方が生活をしている。また、利用希望者は36名。そのうち、早めの利用を希望している方が14名、5年ぐらいをめどに考えている方が11名、5年以上先を考えている方が10名、町内での利用を希望しているが現在はお外で利用している方が1名となっている。

問 グループホーム建設を町ですることはできないのか。不可能であれば社会福祉協議会に任せるのはどうか。

町長 障がい者グループホームの運営に関するノウハウを持った事業所に対応していただくことが重要である。そのような事業所に参入していただけるよう呼びかけており、社会福祉協議会が障がい者グループホームの建設・運営にかかわっていくのであれば協力していく。

問 建設にあたっては、管理・運営・資金・土地等あらゆる壁があるが、町のかかわり方は。

町長 明和町社会福祉協議会が運営や建設にかかわっていくのであれば、資金面も含めて協議の皆様に相談申し上げながら実現できるようにしていきたい。

災害関連施策を問う

江 京子 議員

答 着実に進めている



問 大規模な震災が発生するたびに、たくさんの助かるべき命が避難所などで亡くなっている。明和町の災害関連死（災害に起因して死亡すると判断される場合の用語）対策はどうなっているのか。

町長 明和町地域防災計画に、被災者の心身の健康状態と生活環境の実態を把握し、計画的・継続的に行うことを位置付け、要配慮者等の多様な課題に対応するため、関係者との連携及びチームでの活動を行うと定めている。また、単に避難所を開設したという結果ではなく、常に避難所の環境改善を図るために何が必要かを考え、防災資機材を整備している。

問 東日本大震災以降、自治体の災害用食料が急増、大量廃棄の問題も起きていると聞く。明和町の避難所における災害用備蓄品・備蓄食料管理対策はどうか。

防災企画課長 南海トラフ地震の最大クラスを想定し、発災から1日目の避難者数約4,700人に対する1日分の食料1万4,100食を目標数量としている。当町では、賞味期限を迎える食料を廃棄するといった考えは持ち合わせていない。年度ごとの量に応じて、幼稚園などの各施設への配分や、各自治会、自主防災組織が開催する訓練やイベント等で配布物として活用している。

問 各自治会の防災懇談会で避難所運営の話がされている。話し合いの中で多く出てくるのが、災害時要援護者の登録のことである。町ではどのようにしているのか。自治会長任せでよいのか。

防災企画課長 災害時要援護者の対象者は役場のデータで把握しているもので、その調査を自治会長さんをお願いするといったことはしていない。本人同意の上での登録や登録内容の変更について、地区福祉委員会で説明し、お願いしているというのが現在の状況である。

環境 羽毛回収
みなさんから社会福祉協議会へ

社会 羽毛募金
古い羽毛共同募金からみなさんの町へ

1 各企業・団体回収活動

2 社会福祉協議会へ取り

3 羽毛メーカーへ売却

4 募金として町へ

環境
環境を守ることができます。
わたしたちは、全国各地から羽毛布団を回収し、中身の羽毛をリフレッシュ（洗浄）させることで資源の有効活用を目指しています。再利用することで二酸化炭素の排出を削減できます。

雇用
障がい者の仕事が生まれます。
わたしたちは、障がい者施設を中心とした、羽毛のリサイクルのしくみを構築します。障がい者の自立・共生・社会を支える取り組みで、日本全国に支那の輪を広げる活動を行っています。

募金
町を良くする寄付に変わります。
羽毛リサイクルの収益金は、古い羽毛共同募金を通じて、じぶんの町の福祉を良くする取り組みに活用されます。使わなくなった羽毛ふとんが、じぶんの町を良くする寄付に変わっています。

羽毛製品は最寄りの共同募金委員会（社会福祉協議会）へお持ちください。

お問い合わせ先
社会福祉法人三重県共同募金会 TEL 059-226-2605

羽毛寝袋で災害の関連死対策を！



公共施設の維持管理について問う

上田 清 議員

答 計画に基づき取り組み



問 今年度は町政60周年になるので、年月を経た公共施設について維持管理をしっかりとしていかなければと思うが、どのようにされているのか。

町長 昨年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」に掲げる基本的な考え方に基つき、財政面も踏まえ、具体的な取り組みを推進していきたい。

問 公共施設の維持管理のなかでも、光熱水費等の節減についてはどうか。

町長 職員への意識付けを徹底するとともに、今後も光熱水費の節減に努めていく。また、公共施設の照明のLED化の推進や電力小売全面自由化に対応した節電対策等を講じていきたい。



修正小学校



明和町役場

企業誘致への取り組みは

答 民有の未利用土地の活用に向け取り組む

問 各学校施設の維持管理に関わり、校区見直しをどのように取り組んでいるのか。

教育長 東日本大震災を受けて「義務教育施設整備検討委員会」を設け、津波浸水区域かつ老朽化した大淀小学校の移転改築等について課題等を検討した。その後、大淀地区での意見交換会を行い、少子化も加味したうえで

「明和町の小学校区編制に関する調査検討業務」を作成した。

今年2月に「明和町小学校区編制検討委員会」を立ち上げた。委員は、教育等に関係する専門家である各大学の先生4名で構成されている。先の「明和町の小学校区編制に関する調査検討業務」を資料として、少子化によって公教育に影響を与える諸問題などを含めた町のまちづくり計画も念頭に入れ、町全体の校区について検討していく。

問 明和町産業活性化協議会のメンバーに、もっとと農業関係者や一般の方が参加できればと思うが。

町長 当協議会の構成は、他の協議会等と同様に委員を委嘱しており、広く一般参加を呼び掛けるワークショップ等とは異なるものである。現在の委員は、商工業関係者と漁業・農業関係者で構成されており、明和町の産業全般への意見や提言など頂き活かしている。

安心・安全のまちづくり 太陽光発電について

山内 理 議員

答 ガイドラインの整備を検討していく



問 急激に増える太陽光発電事業の管理・監督責任の所在はどこにあるのか。

町長 発電施設の管理責任は、設置事業者にある。事業を始めようとする場合は、事業者は国へ事業計画の認定申請の必要があるが、その際、通常の保守点検の実施や維持管理のための体制等も審査の対象とされる。

問 将来において、20年30年後の管理責任は。

町長 国への事業認定申請では、将来の発電施設の取り扱いに関する計画についても審査される。また、国や県の適正導入に係るガイドラインにおいては、管理責任を明らかにし速やかな対応ができるように、設置者を明示する標識を掲示するよう、求められている。



F P K 斎宮第1 発電所

問 行政が関わることでできる範囲は。

町長 太陽光発電施設の設置は、地域の住環境や

景観等への影響も懸念されることから、特に小規模施設の設置に関してのガイドラインの整備も検討していきたい。

斎宮跡について

答 「おもてなし力」の向上に努める



さいくう平安の杜

問 「祈る皇女斎王のみやこ斎宮」が日本遺産に認定されて3年。今後の明和町の「おもてなし」はいかに進めていくのか。

町長 現在、斎宮跡保存活用に関わる主な団体が集まり「斎宮跡来訪者アップ連絡会議」を毎月開いて課題などを情報共有し、受け入れ体制など充実を図るため取り組んでいる。また「おもてなしセミナー」などを開催し、おもてなし力の向上に努めている。

問 「さいくう平安の杜」周辺整備の進捗状況は。

町長 「さいくう平安の杜」がオープンして2年半が経過し、夜間の魅力を出すため、ライトアップ整備や説明板の設置など追加整備を行ってきた。また、植栽や建物の活用などは、まだ斎宮らしさの魅力を出し切れていないところも感じられるので、文化庁や三重県とも相談しながら地域と連携し順次進めている。

平成30年度町長提案説明より 将来の小学校校区数再編について問う

中井 啓悟 議員

答 「明和町小学校区編制検討委員会」で検討していく



問 将来の小学校の再編について、大淀地区で聞いた意見はどのようなもので、どのように反映していくのか。

教育長 意見交換会では、子どもたちの安全を考えると小学校の移転はやむを得ないという意見があった。一方で、子どもたちが地元から離れた場所へ登校すると地域コミュニティが崩壊するのではないかとのご心配もいただいた。これらのご意見を踏まえ、「明和

町小学校区編制検討委員会」に反映していきたい。

問 大淀地区では意見を聞いているが、隣接している下御系地区で聞いているのはなぜか。意見反映の地域格差は出ないのか。

教育長 津波被害の可能性や校舎の老朽化を受け、義務教育施設整備検討委員会の答申や大淀地区での意見交換会を実施した。交換会では、町は将来像を固めてから地域に求めて欲しいという要望をいただいた。このような経緯から校区編制の将来像を提示できるよう「明和町小学校区編制検討委員会」を立ち上げた。子どもたちの社会性の育成、

教育の公平性の確立、防災の観点、コミュニティ再編などを含め委員会で検討し、その後、下御系地区に限らず全地区に提示していく予定である。



下水道未整備地域の現状と今後について

答 再度検討する

問 県道37号線以南の下水道整備の見通しは。

町長 現在実施中の宮川流域関連公共下水道事業の進捗が遅れていることもあり、次期計画期間（平成32～37年頃）内では、県道37号以南までの整備は見込んでいない。三期目（平成38年頃）以降では、県道37号以南の明星地区等が対象と考える。県道以南の斎宮地区については、具体的な整備時期の目処は立っていない。

問 大淀地区の下水道整備において、しっかりとした方向性を決断する時期では。

町長 大淀地区の下水道整備については、伊勢市側からの大淀幹線整備時期の目処が立たない状況の中で、町設置の合併処理浄化槽も含めて他の整備手法を検討し、流域幹線を待たずに明和幹線側から整備する方法についても、委員会等で報告した。今後も三重県や伊勢市と協議を進めるとも

に、町設置の合併処理浄化槽も含めさらに検討したい。

問 大淀地区において、個人負担が大幅に節約でき、災害にも強い市町村設置型PFI方式（民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法）導入の考え、及び導入した際の試算検証は可能か。

町長 合併処理浄化槽市町村設置型PFI方式は、効率的な整備・維持管理が図れるとして、下水道整備の難しい山間部等で成果をあげているが、一定数の居住人口のある地域では下水道による集中管理が効率的と考える。また、これまで県の宮川流域下水道に建設負担金を納めてきた経緯もあり、安易に方向転換はできない。過去に町設置型合併処理浄化槽と下水道整備の比較検討を行った経緯があるが、大淀地区の地域的な条件、PFI方式も加味した中で、再度下水道整備との比較検討等を行いたい。

問 浄化槽清掃料金の改正、及び夜間・土日・祝祭日の対応向上に全く進展がない。平成27年12月議会で町長は「委託業者をお願いする」旨の答弁だったが、その後の協議及び委託業者の返答はどうだったのか。

町長 浄化槽清掃料金は、県内市町との比較を行い、許可業者と協議の上、現状維持となっている。夜間・土日等の対応については、松阪広域衛生センターの営業日しかし尿等の投入ができないこと、また従業員削減を進めている中で、体制的に難しいとの回答。緊急時等は迅速かつ弾力的な対応ができるよう行政との連絡体制を強化する。



傍聴に来ませんか！



平成30年 第2回定例会

明和町議会



傍聴席から

6月12日火～
15日金

一般質問は12日、13日を予定しています。
(変更の場合あり)

詳細は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

連絡先：明和町役場議会事務局
明和町馬之上945
0596-52-7122

Q 消防団員が減少している中、団員確保に向けての町の取り組みは。
(綿民和子 議員)

A 消防団員の確保対策として、広報めいわなど様々な取り組みを実施している。

こ うなりました

消防団員の確保は急務であり、引き続き様々な対策を講じていきます。

Q 地域力強化推進事業及び他機関の協働による包括的支援体制構築事業に対する取り組みは。
(北岡 泰 議員)

A 福祉二一ズの対応は、縦割から横断的連携に対応が必要となり、体制整備を行う。

こ うなりました

福祉二一ズの多様化、複雑化に対応するため、包括的に相談・支援を行うことができる体制を作りました。

Q 幼・保・小学校の再編、統合などを見据え、再編基本計画や適正配置計画などの作成予定は。
(中井啓悟 議員)

A 平成29年度において、将来の小学校数や校区の再編に取り組む検討委員会を立ち上げる。

こ うなりました

本年2月に第1回明和町小学校校区検討委員会を立ち上げ、次年度においても継続して検討を続けていく予定です。

1年前の一般質問

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

このページの見方は

- Q (一般質問の主な内容)
- A (Qに対する町長などの答弁の内容)
- こ (現在の取り組み状況や結果など)

シリーズ
第76回

その後、どうなった？

～平成29年3月定例会より～

Q 緊急車両の冬期のスタッドレスタイヤの整備はできているのか。
(江 京子 議員)

A 今後考えていく課題。現場で対応している消防団と協議していく。

こ うなりました

周辺市町の状況を見ながら、引き続き検討していきます。

Q 医療、介護、福祉施策を連携させた「地域包括ケアシステム」の構築に向けての取り組みは。
(奥山幸洋 議員)

A 特に、認知症対策として、平成29年度中に設置できるよう取り組んでいる。

こ うなりました

地域包括センターに、認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員を平成30年1月に設置しました。

Q 10年間でどの程度、ゴミの減量化ができたか。また、資源ゴミはどの程度分別できたか。
(上田 清 議員)

A 可燃ゴミは18～23年度は年間6,000t前後で推移し、24年度をピークに減少。資源ゴミも店舗等の回収サービスなどで減少している。

こ うなりました

ゴミの減量化、資源ゴミの分別の取り組みを継続して進めてきており、ゴミの量は年々減少傾向にあります。

みんなの広場



竹根彫刻

やりがいある「竹茗舎」活動

千年の昔、「京の都」に対し、「竹の都」と呼ばれた所が：此処齋宮だと教えられた時の驚き。古も今も変わらず脈々と此処齋宮一円に、訪れる人を温かくもてなす気風が伝えられている風土を知った喜び。竹茗舎はその驚きと喜びを、町内外からの来訪者に伝えてゆくのをやりがいとして活動が続けています。

その竹の都「齋宮」の竹神社の杉の穂末が望める牛葉公民館の一面をお借りして竹のミニ博物館を開設して丸8年。齋宮小のわかたけ健児・4年生に「ふるさとを知ろう」のテーマで、総合学習担当の栄誉を頂戴し、イネ科竹笹類の多様性、竹の文化の多面性、そして生物多様性を学ぶ竹林間伐などを伝えてきました。

周辺の方々からの有難い御寄贈の竹製の農具・漁具・養蚕具も展示中。昨年は米国、スイスなどから5度、計7名の来館者がありました!!



1月

- 15日 議会だより編集特別委員会
(No.167第2回校正)
- 29日 第1回臨時議会
議員研修会(人権研修)

2月

- 1日 議会運営委員会
(3月定例会について)
- 13日 紀宝町タイムライン
(事前防災行動計画)視察研修
- 19日 総務産業常任委員会協議会
(3月定例会について)
- 22日 教育厚生常任委員会協議会
(3月定例会について)
- 26日 議会運営委員会
(3月定例会について)

3月

- 1日 全員協議会(3月定例会について)
公共施設等建設特別委員会
議会だより編集特別委員会
(No.168全体計画)
- 5日 第1回定例議会開会
- 6日 本会議
- 7日 本会議(一般質問)
- 12日 予算特別委員会
- 13日 予算特別委員会
- 14日 予算特別委員会
- 23日 第1回定例議会閉会
- 26日 議会だより編集特別委員会
(No.168第1回校正)

応募要項

- 【種類】 カラー
- 【サイズ】 タテ A4版か四つ切り
- 【テーマ】 「元気な子どもたち」
- 【点数】 1人につき1点、応募者本人が撮影したもので未発表のものに限ります。
- 【応募締切】 平成30年6月8日(金) 当日消印有効
- 【撮影期間】 平成30年5月1日(火) から平成30年6月8日(金)。
- 【選考方法】 応募作品は、議会だより編集特別委員会で選考します。
- 【記入事項】 住所、氏名、電話番号(日中連絡がとれる電話番号)、被写体とされる方の承諾、タイトル名。
- 【応募上の注意事項】
 - *被写体となる方々には、必ず事前に承諾を得てから撮影・応募してください。肖像権などで万一、問題が生じた場合は応募者責任となります。
 - *上記サイズにプリントアウトして応募してください。
 - *応募作品の返却はいたしません。
 - *表紙に採用された方の氏名は、議会だよりに記載させていただきます。

次号、議会だより「表紙写真」を募集します

【応募先】
〒515-0332
多気郡明和町馬之上945
明和町議会事務局
議会だより編集特別委員会 宛
☎0596-52-7122



編集室から ◆次号より「めいわ議会だより」をリニューアルします

入園・入学・入社など、新たなスタートを始めた皆様も少し落ち着いてきた頃でしょうか。今年は町政60年の節目を迎え、私たちも気持ち新たに議会改革に取り組んでまいります。その一環として、議会広報誌の「めいわ議会だより」を次号6月議会号よりサブタイトルを付け全面リニューアル致します。相変わらず固くマジメな内容が多いのですが：やわらかい字体を取り入れ、これまでの縦書きから横書きに変更し読みやすくなるように致します。また、町民の皆様の写真やイラストなどを広く募集し、たくさん掲載することで、子どもたちから若い世代、また高齢者の方まで愛着がわき身近に感じてもらえるような広報誌を目指し、「待ち遠しくなる広報誌」を motto に今後とも委員一同努力してまいります。

お問い合わせは
議会だより編集特別委員会
☎7122(直)
(議会事務局内)